



議員 鈴木 かずお すぎ

総合型地域スポーツクラブ事業とは

文化・スポーツの環境整備を図る

総合型スポーツクラブ事業（重点事業）

鈴木 文化とスポーツが盛んなまちをつくるという政策の大きな目玉事業である本事業であるが、会員数を含め現況をお示しいただきたい。

鈴木 「スポーツの町矢吹」を県内外にひろめていきたいと思えます。

さらにスポーツクラブ事業ではあるものの文化活動事業とのコラボレーション、地域性についてどのようにとらえているのかを伺う。

町長 総合型地域スポーツクラブとして、5月に設立いたしました矢吹スポーツクラブでは、中学生の競技力向上のための教室や講習会、町民向けの各種スポーツイベントや教室の開催などを通

待機児童解消加速化事業（重点事業）

鈴木 あさひ保育園の現遊戯室を保育室とし、定員10名増とする計画であるが、どの自治体も苦慮している保育士の確保に対応策は。

教育長 保育士の確保は保育の受け皿として欠かせないものであります。募集については広報やホームページ、ハローワークへの求人登録でしたが、今回は募集チラシの新聞折込み、町内のスター、公共施設でのポスターの掲示やチラシの配布などを通じて周知を図っております。処遇改善についても臨時保育士時給単価を87円から98円にいたしました。



あさひ保育園遊戯室工事風景

矢吹っ子応援事業

鈴木 ひとり親家庭医療費助成、不妊治療費助成、不育症治療費助成などの施策が十分に周知されていない。

広報以外の媒体も積極的に活用し認知度を高める必要がある、迅速な対応を求めます。

教育長 各施策の周知方法については、役場窓口において制度周知を行うほか、不妊治療費助成、不育症治療費助成について、県助成事業の対象者は、本町助成事業の対象者となるため、県と連携を図りながら、周知をしております。

これらの取組の結果、6月より1名確保することができました。今後はこれらの取組に加え、保育士を養成している学校に出向き、卒業生への情報提供をし、さらに必要な2名の確保に全力を挙げてまいります。

に、スマートフォン向けの「子育てアプリ」を導入して、妊娠期から就学中の家庭を対象に、情報を配信いたします。

このアプリは、ひとり親家庭医療費助成や幼稚園及び保育園の入退園等の情報、子育てイベント情報が閲覧できるもので、今年度の早い時期に導入を進めてまいります。

今後これらの施策が子育て世代の方に届くよう、児童手当の現況届や私立幼稚園奨励費補助事業等、きめ細かな情報発信をしております。

町政を問う（一般質問）